

過疎集落等自立再生対策支援事業実施計画概要

資料1

地域の課題

1. 地域コミュニティの維持
 - 自治会活動の維持や地域役員の引継ぎが困難
 - 現在の暮らしへの不満や不安
 - 互いに協力し合える仕組みづくり
2. 高齢者支援
 - 買い物や通院手段の確保
 - 除雪や買い物、食事などのサポート
3. 大学等との連携
 - 地区の将来に向けての連携(北大演習林、旭川大学)
4. 産業・ビジネス
 - 地域資源を活用した雇用の場の創出
 - 移住者などが定住できるための働く場の確保
 - 家庭菜園等の有効活用

地域が目指す将来像

1. この母子里地区に暮らす方々が、お互いに支え合い、助け合いながら安心して安全な生活を送ることができ、心豊かな暮らしが実感できるような地域
2. この母子里地区で暮らしたいと考える移住希望者などを前向きに受け入れ、こうした方々の安定した生活が確保され、地域に定住するとともに共に仲良く暮らし続けられるような地域

過疎集落等自立再生対策支援事業

事業名:共に仲良く暮らすための地域コミュニティ再生事業

1. 高齢者支援事業

【1,404千円:賃金、車両リース他】

- ①サロン活動(お食事会など)
- ②生きがいづくり活動(買い物、温泉などへお出かけ)など

2. 地域交流イベント

【1,526千円:イベント実施委託料他】

- ①写真ツアー
- ②除雪ツアー

3. 地域資源発掘・活用事業

【2,704千円:委託料、講師招聘、先進地視察他】

- ①山菜資源マップ作成
- ②山菜料理レシピ
- ③講師招聘
- ④先進地視察
- ⑤ホームページ作成

4. 地域コミュニティ活性化事業

【12,366千円:地域おこし協力隊、交流等拠点施設、消耗品他】

- ①地域おこし協力隊
- ②交流拠点(山菜など地域資源等の販売)施設整備(トレーラーハウス)

成果・効果

- 地域おこし協力隊の受け入れや関係間との連携により、地域コミュニティが維持され互いに助け合うことのできる地域としての再生が図られる。
- 地域資源を活用したビジネス化を検討することにより、新たな地域産業が期待されるとともに働く場が確保され移住者などの定住促進につながり地域の活性化が図られる。